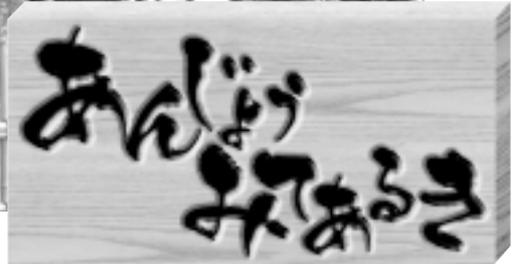




一般に、松の幹は直上して伸びるのに対し、この松の木は、高さ1.5メートルのところから横に広がっています。



★永安寺の雲竜の松 (浜屋町)

浜屋町の旧国道沿いにある永安寺の前で足を止めると、そこに、天を覆わんばかりの巨大な松の木が目に見え込んできます。永安寺の雲竜の松です。横に広がっているこの松は、その形状がたいへん珍しく、昭和60年に県の天然記念物に指定されました。さらに高さが比較的高さの低い松のため、以前木のそばにあった火の見やぐらからこの木を見下ろすと、まるで緑のじゅうたんが敷き詰められているかのような素晴らしい光景を見ることができました。

この付近には、岡崎の岩津からも見ることができたほど、背の高いマツ並木が旧国道沿いに取りましたが、現在は風害や公害でその数を減らしてしまいました。しかしこの雲竜の松の木は、今もなお、枯れることなく成長し続けています。子どもころ鬼ごっこで、よくよじ登った大きくて丈夫なこの松の木。うまく飛び移りながら逃げるのができません。あれから80年以上の時が過ぎました。もうこの木に登ることはなく見上げるだけになりましたが、天に昇る竜のごとく枝先を伸ばし続けるこの松の姿に、わたしは今また、新たな年を迎える喜びを感じています。

その10

永安寺の雲竜の松



今月の案内人
浜屋町 柴田嘉三さん